

わたぼうし



多治見市福祉教育読本 小学生用

2016年改訂版

^{こころ} ^{なか}
みんなの心の中に

^さ ^{はな}
咲いている花

あとの、フワフワわたぼうし

^と
飛ばしておくれ

^{ちい} ^{たね}
小さな、小さな、やさしさの種

^{ひと}
どんな人も

^{わら}
笑っていられるように

いとう ^{かずひろ}
伊藤 一浩

も く じ

みつけよう

- いろいろな人が暮らしています…………… 2
- 家の中で工夫されているもの…………… 4
- まちの中で工夫されているもの…………… 6

やってみよう

- 目が不自由になった体験をしてみよう…………… 8
- 目が不自由な人のためにあるものを知ろう…………… 10
- 耳が不自由になった体験をしてみよう…………… 12
- 手足が不自由になった体験をしてみよう…………… 14
- お年よりになった体験をしてみよう…………… 16

かんがえよう

- 障がいのある人の生活を知ろう…………… 18
- できることから、はじめよう…………… 21
- こんなことをしています…………… 22

しらべてみよう

- 多治見市には、たくさんの施設があります…………… 24
- 総合福祉センターは、こんなところです…………… 26
- 赤い羽根共同募金・ユニバーサルデザインの商品…………… 27
- いろいろなマークがあります…………… 28

さんこうページ

- 福祉体験の様子と感想…………… 30
- 自宅で受けられるサービス…………… 31

わたしたちの周りでは、いろいろな人が暮らしています。
どのような人たちとかかわりあって生活しているか、みんなで考えて
みましょう。





かぞく 家族には、どんなひとがいますか？
がっこう 学校には、どんな人がいますか？
まちのなか まちの中には、どんな人がいますか？
あなたのまわりには、どんな人が暮ら
していますか？

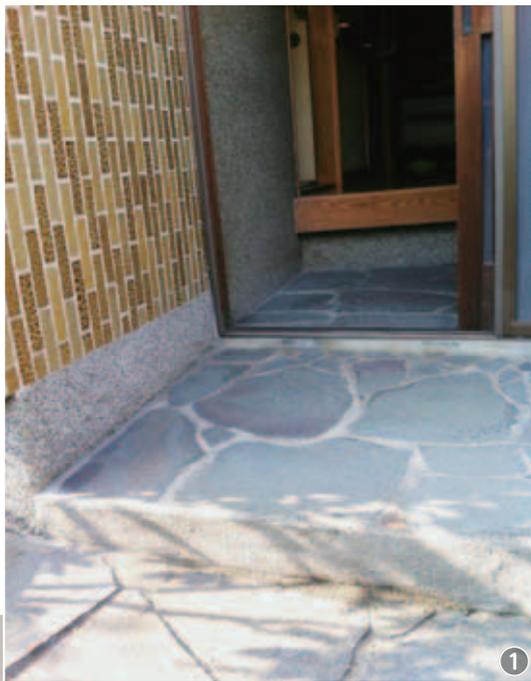


みつけよう！

いえ なか くふう ～家の中で工夫されているもの～

家の中には、いろいろな人が生活しやすいように、工夫されたものがたくさんあります。転ばないように工夫、さわってわかるしるし、音や光で知らせる便利な電化製品など、たくさんの工夫があります。

どこに、どんな工夫があるのか、みつけてみましょう。



どっちの玄関が使いやすいかな？





シャンプーとリンスの容器は、^{ようき}同じ形をして
います。

目をつぶったまま、^て手でさわって、どちらが
シャンプーかあててみましょう。

ほかにも、さわってわかるものや、^{おと ひかり}音や光で
知らせてくれるものをさがしてみましょう。



どっちが、
シャンプーかな？



どっちの缶が、
^{ちや}お茶かな？



家の中には、生活しやすいように工夫されたものが、たくさんありましたね。外へ出ると、道路や公園、バスや電車などの乗り物、児童館や図書館などの公共施設、買い物や食事をするお店などがあります。

まちの中では、どんな工夫がしてあるのか、みつけてみましょう。



どっちの道路が通りやすいかな？



歩道と車道の間に段差があります。

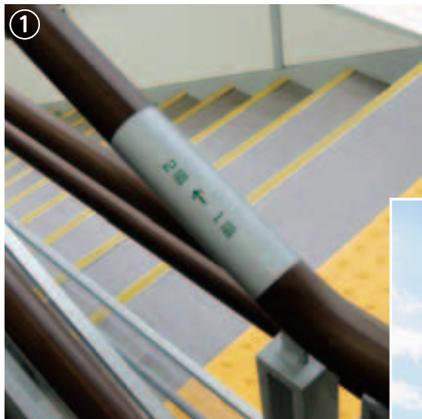


歩道と車道の間に段差がありません。





たてものなか
建物の中だけではなく、建物へ行くまでの
どうろ ちゅうしゃじょう
道路や駐車場などに工夫してあるものを、
みつけてみましょう。



あなたがくるまつか
あなたが車いすを使っていたら…
うれしいのはどんなこと？



目が不自由とは、どういうことだろう？

わたしたちは、見ることによって、身のまわりのことがわかります。
目が不自由でよく見えないと、どこに何があるのか、誰が何をしているのか、わかりません。そのため、手でさわったり音を聞いたり、目のかわりとなるものを使いながら、生活しています。

◆ひとりある 一人で歩いてみよう

目かくしをした人と、見守る人が二人一組になって、歩いてみましょう。

たとえば

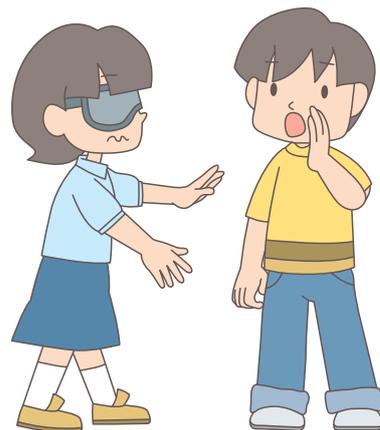
教室の中を歩いてみる。
トイレまで歩いてみる。

目かくしをした人

壁や物にぶつかってけがをしないように、ゆっくり歩きましょう。

見守る人

目かくしをした人を、近くで見守りましょう。
目かくしをした人が危険なときや、違った方向へ行きそうなときは、声をかけたり手助けしたりしてあげましょう。



目かくしをして一人で歩けましたか？

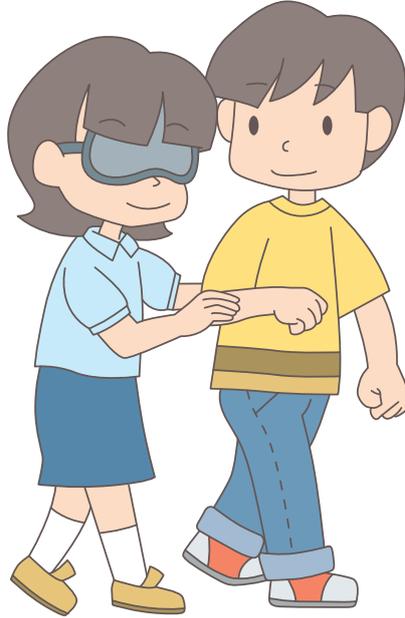
なれた場所でも、どこに何があるか、誰が何をしているのか、よくわかりませんね。

◆ふたりひとくみ ある 二人一組で歩いてみよう

つぎは、め 目かくしをした人と、案内をする人が二人一組になって、歩いてみましょう。

かいだん
階段は
まだなの？

あと、5歩ぐらい
歩くと階段だよ



目かくしをした人

どのように案内してほしいのか、案内する人に伝えましょう。

たとえば

手を引いてもらう。

肩や腕をかしてもらう。

案内をする人

目かくしをした人が安心して歩けるように、まわりのようすを話しながら、手を引いたり自分の肩や腕をかしたりしましょう。



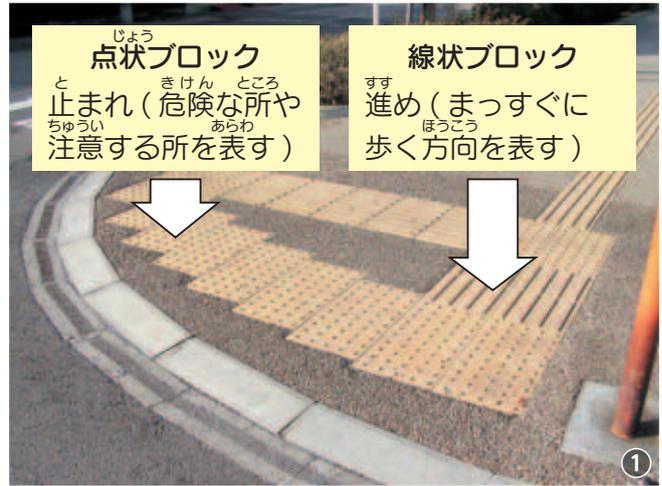
歩き始める時と止まる時は、必ず声をかけましょう。

階段や段差などの危ない所でも、一度立ち止まってから、「のぼり階段があります」「階段をのぼります」「階段は終わりです」というように、くわしく伝えましょう。

◆^{てんじ}点字ブロック

^{ほどう きいろ}歩道に黄色のブロックがあるのを知っていますか？

これは「点字ブロック」といって、^あ目の不自由な人がたどって歩くための道しるべです。^{せん}線になったブロックと、^{あし うら}点になったブロックがあり、足の裏で、^{たし}でこぼこを確かめながら歩いたり、^{こうさてん かいだん}交差点や階段などの場所を知ったりするために役立ちます。



点字ブロックの上で立ち止まったり、^{じてんしゃ}自転車などを置いたりして、^{たいせつ}大切な道しるべをうばわないように、^き気をつけましょう。

◆^{はくじょう}白杖

白杖は、^め目の不自由な人が、^{つか}歩くときに使います。白杖の先で、^{さき}階段の始まりや^{はじ}終わり、^{だんさ}段差や^{でんしゃ}電車とホームのすきまなど、^{あたり}あたりのようすを確かめながら歩きます。白杖は、^め目のかわりとなる大切なものでもあり、^{まわり}まわりの人に^め目の不自由なことを知らせる「^{しるし}しるし」でもあります。



白杖 SOS シグナル
普及啓発シンボルマーク



このマークは^{こま}目の不自由な人が困っていることを^{あらわ}表しています。
困っている人や白杖を頭から50cmくらい上にあげている人を見かけたら、「^{てつだい}お手伝いしましょうか」と^{こゑ}声をかけましょう。

◆ **もうどうけん
盲導犬**

盲導犬は、目の不自由な人が安全に歩けるように、目のかわりとなって働いています。

スーパーなどのお店に入ることもできるし、バスや電車に乗ることもできます。

盲導犬は、こうした大事な仕事をするために1年以上のきびしい訓練を受けています。

また、盲導犬の他にも、体の不自由な人が歩くのを支えたり、立ち上がるのを助けたり、その他身の回りの手伝いをしたりする介助犬や、耳の不自由な人に、音が鳴っていることを知らせる聴導犬がいます。



仕事をしている盲導犬に「かわいい」と声をかけたり、頭をなでたりしてはいけません。大事な仕事に集中できなくなり、目の不自由な人を危険な目にあわせてしまいます。

盲導犬を見かけたら、そっと応援してあげましょう。

◆ **点字**

点字は、指でさわって読む文字です。

一つの文字は、縦3点、横2点の6つの点の組み合わせでできています。

あ	い	う	え	お
●—	●—	●●	●●	—●
—	●—	—	●—	●—
—	—	—	—	—
か	き	く	け	こ
●—	●—	●●	●●	—●
—	●—	—	●—	●—
—●	—●	—●	—●	—●



国語の教科書（4年・上）に、点字が紹介されています。

参考にして、読んでみましょう。

耳が不自由とは、どういうことだろう？

わたしたちは、聞くことによって、身のまわりのことがわかります。
耳が不自由でよく聞こえないと、話し声や物音が聞きとれず、話しかけられても会話できません。また、サイレンや警報機が鳴っても、わかりません。いつも、身のまわりのことに、目で注意をしています。

◆声を出さずに伝えてみよう

身ぶりや手ぶりだけで、自分の言いたいことを相手に伝えてみましょう。

たとえば

朝ごはんは何を食べたか伝える。

きのう見たテレビの内容を伝える。

何をするのが好きなのか伝える。



うまく伝わったかな？ 他にも、「手話」や、紙や手に字を書く「筆談」、相手の口の動きを読む「口話」などがあります。
いろいろな方法で、伝えてみましょう。

◆ しゅわ し 手話をしよう

手話は、手の動きや表情で、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができる「ことば」です。手話には、物や生き物の形をまねたものや、物の動きや人の動作をまねたものもあります。

おはよう

まくら あたま
枕から頭をあげて起きるようす



りょうて さ ゆび
両手の人差し指を、ちょっと曲げ、おじぎをしているようす



こんにちは

とけい ほり
時計の針が12時になったようす



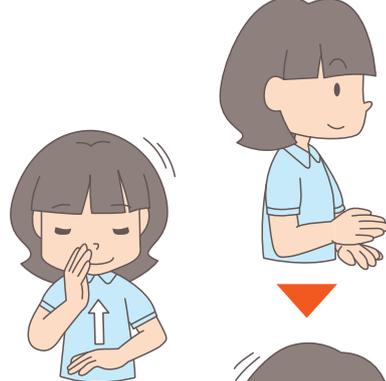
こんばんは

たいよう しず
太陽が沈んで、暗くなるようす



ありがとう

すもうで しょうきん う
すもうで、賞金を受け取るようす



手の動きだけでなく、顔の表情や口の動き、からだ全体の動きを使って気持ちを表しましょう。

手足が不自由とは、どういうことだろう？

ふだん何気なく使っている手や足が、けがや病気などで使えなくなったら、どうしますか？

いつもは、簡単にできることが、なかなかできなかつたり、手助けが必要となったりして、生活が不便になることが、たくさんあります。

◆かたて 片手でやってみよう

利き手を後ろに回して、片手だけで、いろいろなことをしてみましょう。

たとえば

字を書いたり、消しゴムで消したりする。
のりのキャップをとる。
はさみで紙を切る。



うまくできたかな？
友だちと助け合いながらやってみましょう。



◆片足でやってみよう

片足が曲がらないように、ひざにダンボールをあてて、いろいろなことをしてみましょう。

たとえば

歩いてみる。
くつをぬいだり、はいたりする。



うまくできたかな？
友だちと助け合いながらやってみましょう。



◆くるま 車いすのしくみを知ろう



◆たいけん 車いす体験をしよう

- ①ブレーキをかけて、人を乗せる。
- ②車いすに乗った人の足を、フットレストに乗せる。
- ③「動きますよ」と声をかけてから、ブレーキをはずし、動かす。

へいち 平地

後ろから、ゆっくりと押す。

人ごみの中では、フットレストが人に当たらないよう注意する。

ざか のぼり坂

後ろから、少し体を前にかたむけて、1歩ずつしっかりと押す。

ゆるやかなくだり坂

前向きで、車いすを自分の方へ引きよせながら、くだる。

きゅう 急なくだり坂

後ろ向きで、1歩ずつゆっくりと、くだる。

ハンドブレーキを軽くかけながら、くだるほうがよい場合もある。

- ④「止まりますよ」と声をかけてから、止めて、ブレーキをかける。



じゃり道や、公園のしばふのようなやわらかい地面では、うまく動かせないで、十分に気をつけましょう。

わたしたちのまわりには、いろいろなお年よりの人がいます。
お年よりは、今までにいろいろな経験をして、たくさんの知恵や知識
をもっていますので、生活の知恵や昔の遊びを教えてください。
また、元気で働いている人もいれば、病気などで体が不自由になった
人もいます。年をとると、若い時に比べて、目が見えにくくなったり、
耳が聞こえにくくなったり、体の動きがゆっくりとなったりもします。
どんな感じなのか体験してみましょう。

◆目が見えにくい体験をしよう

ゴーグルに、セロテープをたくさん重ねて貼り、いろいろな物を見てください。

たとえば

本を読む。

黒板の文字や掲示物を見る。

外の景色を見る。



◆手先が動きにくい体験をしよう

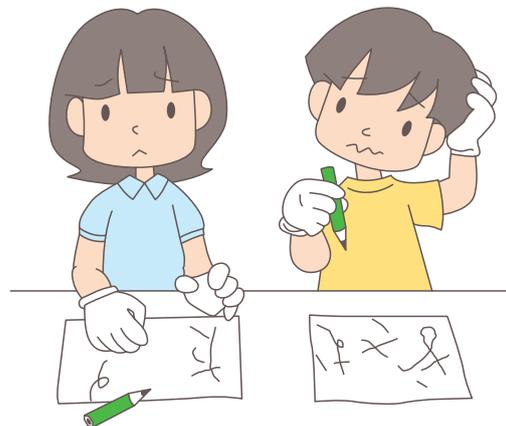
軍手を2枚重ねてはめ、いろいろなことをやってみましょう。

たとえば

筆箱から鉛筆を取り出し、字を書いたり、
消しゴムで消したりする。

本のページをめくる。

針に糸を通す。



◆^{からだ うご}体が動きにくい^{たいけん}体験をしよう

「ひじ」と「ひざ」が動きにくくなるように、^{しんぶん}新聞をまきつけ、ガムテープなどで^{こてい}固定して、いろいろなことをやってみましょう。

たとえば

^お落ちて^{もの}いる物をひろう。
^{かいたん}階段を、のぼりおりする。
^た立ったり、^{すわ}座ったりする。



◆^{とし}お年よりとふれあおう

^{じぶん}自分のおじいさんやおばあさん、^{きんじよ}近所のお年よりから、^{むかし はなし き}昔の話を聞いたり^{たの}楽しい遊^{あそ}びを^{おし}教えてもらったりしましょう。

たとえば

^{がっこう}学校や^{ちいき}地域の^{れきし}歴史
昔の遊びや^た食べもの
^{しょうがくせい}小学生のころの^{おも}思い出



「おはじき」を教えてもらっています



「ながしそめん」を楽しんでいます



「かざぐるまづく」を教えてもらっています

わたしたちのまわりには、障がいのある人がわたしたちと同じように生活しています。

どんな生活をしているのか、少しでも教えてもらいましょう。

◆ **目が不自由な小林康史さんのお話**

- ・若いときに目が見えなくなりました。
- ・大阪の職業生活訓練センターで点字や歩行などの訓練をしたり、名古屋盲学校で鍼灸マッサージを学んだりしました。
- ・今は、自宅で鍼灸マッサージ治療院を開業して



ソフトボールを楽しむ小林さん

います。

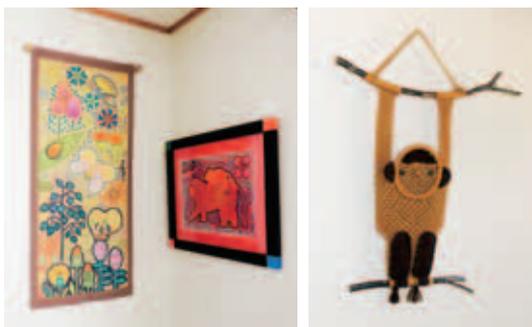
- ・総合福祉センターでも週2回リハビリ指導を行っています。
- ・余暇はソフトボールを楽しみます。
- ・目が見えなくなったときはショックでしたが、気持ちを切り替えて「次にどうするか」を考えました。



仕事中の小林さん

◆ **耳が不自由な加藤昭子さんのお話**

- ・生まれつき耳が聞こえません。
- ・ご主人も耳が不自由ですが、手話で会話ができます。
- ・総合福祉センターやまなびパークの、手芸や陶芸、



加藤さんの作品

ガラス教室など、いろいろな作品づくりの教室に通いました。



自宅でくつろぐ加藤さん

- ・最近、孫の世話をしながら身振り手振りで孫との会話を楽しんでいます。

◆手足が不自由な伊藤一浩さんのお話

- ・小さいころの病気が原因で、手足に障がいがあります。
- ・初めは手も足も動きませんでした。足の動きの訓練をして、足でペンが使えるようになりました。
- ・口に筆をくわえて描く星野富弘さんの詩画集に影響を受けて、足で絵を描いています。
- ・見た目は良くないかもしれませんが、考えていることは皆さんと変わらないことを理解してほしいです。



絵を描く伊藤さん



伊藤さんの習字作品

◆つぎのページの詩を読んで考えてみよう

この詩は、伊藤さんが、学校帰りの小学生と出会ったときのように書かれています。伊藤さんの気持ちの変化を考えてみましょう。

きみ
君たちに、ありがとう

いとう かずひろ
伊藤 一浩

ゆうぐ
夕暮れ
きろ いそ わたし
帰路を急いでいる私
となり に はし
その隣、逃げるみたいに走っていく
む
ランドセルの群れ

お こ
追い越して
じゅう ぜんぼう
十メートルほど前方
ふ む
振り向いている

ようじ
「なにか用事？」
は す さけ
吐き捨てるように叫ぶと
また、走って行った
い
そんなことの繰り返し
く かえ
私は、怖ささえ感じ——

すうねんご
数年後
びょういん ひ
病院へ行く日
おも こうけい
想いは、あのときの光景
けれど

「こんにちは」
しょうじょ えがお あたま さ
少女は、笑顔で頭を下げる
なら つぎ こ
それに倣うかのように、次の子も
次の子も

私も笑顔で下げていく
あした わ し
明日になれば、分からないかも知れない
けれど、きょうは
君たちに、ありがとう



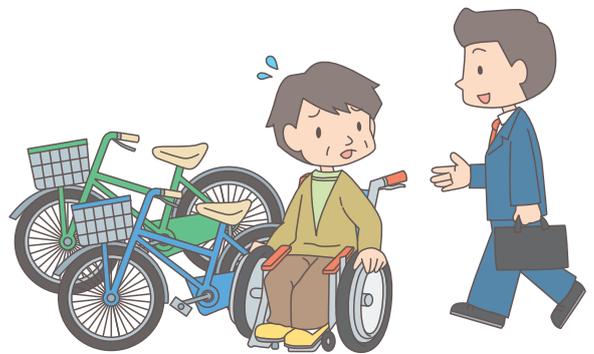
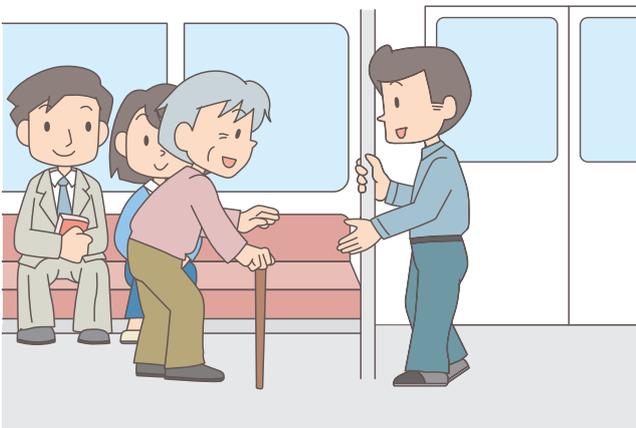
こま 困っている人を見かけたとき、どうしますか？
てつだ どのようなお手伝いができるか、いままでにたいけん 体験してきたことをふりかえり
あいて きも ながら、相手の気持ちになってかんが 考えてみましょう。

◆きょう 今日から、じぶんひとり 自分一人でもできること

困っている人を見かけたとき、一人でもできることはどんなことがあるか、考えてみましょう。

たとえば

でんしゃ 電車やバスでお年よりや妊婦さんが立っていたらどうしますか。
くるま 車いすで困っている人がいたらどうしますか。



◆みんなで体験してみよう

自分たちでできることを考えて、けいかく 計画してみましょう。

たとえば

お年よりやしょう 障がいのある人のしせつ ほうもん 施設を訪問する。
てんじ 点字やしゅわ 手話をくわしくしら 調べる。



それぞれのしょうがっこう小学校では、いろいろなかつどう活動をしています。
みなさんも、すす進んで活動のけいかく計画をたてて、さんか きょうりょく参加や協力をしましょう。

養正小学校



えんじ園児との交流を通して、ちい小さい子の
きも気持ちや関わり方について学びました

共栄小学校



こうれいしや高齢者施設を訪問し、としお年よりの人た
ちとの交流をふか深めました

小泉小学校



からだ高齢者の体の不自由さを体験しました

精華小学校



くるま車いすに乗って、あし足が不自由な人の
たいけん体験をしました

昭和小学校



アイマスクをつけて、め目が不自由な人の
体験をしました

池田小学校



まち町の中にあるなか点字ブロックやてんじ音声ガイ
ドシステムなどのくふう工夫をさが探し、はっけん発見し
たことを交流しました

市之倉小学校



ちいき みな がっこう そだ はな なえ
地域の皆さんに学校で育てた花の苗
を配りました

南姫小学校



ふくししせつ かた こうりゆう ふか
地域にある福祉施設の方と交流を深
めました

北栄小学校



とし ぎじ
お年よりの擬似体験をしました

笠原小学校



こうれいしゃ ほうちん
高齢者施設を訪問し、お年よりの人
たちとの交流を深めました

滝呂小学校



くるま たいけん あし ふじゆう ひと
車いす体験をし、足が不自由な人の
体験をしました

根本小学校



アイマスクをつけて、目が不自由な
人の体験をしました

脇之島小学校



お年よりの人たちとふれ合い昼食会
をし、いっしょに遊びました



- ▲ : みんなのための施設
- : 子どものための施設
- : お年よりのための施設
- : 障がいのある人のための施設



平成28年3月現在

* みんなのための施設 *

市役所（本庁舎・駅北庁舎）、保健センター、総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫、かさはら福祉センター、市民病院、県立多治見病院、東濃保健所

* 子どものための施設 *

● 児童館・児童センター

大原児童館、笠原児童館、共栄児童館、坂上児童館、中央児童館、本土児童館、旭ヶ丘児童センター、市之倉児童センター、太平児童センター（総合福祉センター内）、滝呂児童センター（サンホーム滝呂内）、根本児童センター（根本交流センター内）、南姫児童センター（ふれあいセンター姫内）、脇之島児童センター

● 発達支援センター なかよし、ひまわり

● 地域子育て支援センター・親子ひろば

池田地域子育て支援センター（池田保育園内）、笠原地域子育て支援センター（笠原保育園内）、共栄地域子育て支援センター（共栄保育園内）、駅北親子ひろば（市役所駅北庁舎内）、笠原親子ひろば（笠原児童館内）

● 子ども情報センター

* お年よりのための施設 *

● 生活している施設

愛の家、市之倉ひまわり、エバーグリーン、円、かさはら陶生苑、我家我家、グリーンホームかさはら、さくらの杜、シュアー、ジョイフル多治見、住ま居る、清涼苑、太陽、たじみ陶生苑、多容荘、ニチイケアセンター太平町、花トピア姫、ピアンカ、ベルツリー、ホープ、

※このほか、お年よりが家から通って、食事やお風呂などのサービスを受ける所や、家に来てもらって、食事やお風呂などのお手伝いをしてもらう所などがあります。

* 障がいのある人のための施設 *

● 昼間の活動をする施設

旭ヶ丘ホーム、けやき、けやきカレッジ、陶技学園、東濃自閉症援助センター「かさ
はら」、なごみの杜かさはら、はだし工房共同作業所、ピュアハート姫、ぶなホーム、
優が丘

※このほか、障がいのある人が共同生活をしながら、食事やお風呂などのお手伝いをしてもらう所や、家で食事やお風呂などのお手伝いをしてもらう所などがあります。



たじみし
多治見市総合福祉センター

たいへいちよう ちょうめ ばんち
多治見市太平町2丁目39番地の1
TEL 25-1131 FAX 25-1132

①

こ 子どものための施設

● 太平児童センター（1階）

きゅうじつ げこう ともだち たの あんぜん あそ
休日や下校してからも友達と楽しく安全に遊べます。

● 母子・父子福祉センター（3階）

おやかてい こうりゆう きょうしつ ひら
ひとり親家庭の交流や、いろいろな教室を開いています。



②

太平児童センター

とし お年よりのための施設

● 在宅老人デイサービスセンター（2階）

からだ ふじゆう しょくじ にゅうよく てつだ
体の不自由なお年よりの食事や入浴のお手伝いをしてい
ます。

● 太平地域包括支援センター（3階）

お年よりの生活を手助けするために、相談にのったり、訪問をしたりしています。

● 老人福祉センター（3階）

いろいろな教室やサークルを開いて、健康や生きがいづくりをしています。



③

老人福祉センター

しょう 障がいのある人のための施設

● 障害者福祉センター（2階）

障がいのある人のために、いろいろな教室を開いてい
ます。



④

障害者福祉センター

みんなのための施設

● 社協たじみ（1階）（社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会）

だれもが安心して住みなれた地域で暮らせるように、いろいろな仕事をしています。

● ボランティアセンター（1階）

ボランティアをしたい人とボランティアをしてほしい人の紹介をしています。

手話などの講座を開いたり、相談にのったりしています。

あか は ね きょうどうばきん
◆赤い羽根共同募金

みなさんも知っている赤い羽根共同募金で集まったお金は、次のようなことに使われています。



赤い羽根共同募金活動の様子 ①

寝たきりのお年よりや一人暮らししているお年よりの生活を助ける活動。
(例) ひとり暮らしのお年よりに小学校の児童から年賀状を送る活動など。

体や心に障がいのある人が安心して暮らせるためのお手伝いをする活動。
(例) 障がいのある人が集まっておしゃべりやレクリエーションをしたり、地域の人と交流したりする障がい者サロン活動など。

誰もが支え合う地域づくりのために、みんなで福祉のことを考える機会を提供する活動。
(例) 広報の発行や福祉一行詩コンクールなど。

福祉一行詩コンクール 平成27年度入賞作品



- ・手話で「わたなべ あかり」を習ったよ。今度、どこかで、自己紹介したいな。
渡邊あかり (養正小学校4年)
- ・ひいおばあちゃんの顔を見に施設に行くと、介護士さんはいつも笑顔。だからおばあちゃんも笑顔かな。
霜出 青良 (根本小学校5年)
- ・目の見えない人、耳の間こえない人、生まれつき病気の人。いろいろな人がいるけれど、みんな同じ人間だ。
森 一晟 (北栄小学校6年)
- ・街の中、白杖持った方がいた。困っていたら「何かお困りですか」と声をかけてみる。
朝日 恭子 (滝呂小学校6年)



他に、どんなことに使われているか調べてみましょう。

赤い羽根共同募金のホームページアドレス <http://www.akaihane.or.jp/>

◆ユニバーサルデザインの商品

誰もが使いやすいように工夫されているユニバーサルデザインの商品には、いろいろな物があります。



力の弱い人でも簡単に抜くことができるように、つまみのついたコンセント



左利きの人でも使いやすいように、どちらの手でも使うことができるハサミ



幼い子やお年よりが口に入れやすいように、すくう部分が手前に曲がっているスプーン

他にどんな商品があるか、調べてみましょう



『ようこそ共用品ワールド』のホームページアドレス

<http://www.kyoyohin.org/kyoyoworld/index.htm>



◆^{こくさい}国際シンボルマーク

このマークは、^{くるま}車いすを使っている人だけでなく、すべての障がいのある人たちが、^{りよう}利用できる^{たてももの}建物や^{こうきょうゆうそうきかん}公共輸送機関であることを示す、^{せかいきょうつう}世界共通のシンボルマークです。

障がいのある人が車に乗っていることを知らせたり、障がい者用の^{しやよう}駐車場^{ちゅうしゃじょう}を知らせたりすることに使われています。



◆^{しんたいしょうがいしゃひょうしき}身体障害者標識

このマークは、^{からだ}体が不自由な人が^{うんてん}車を運転するときに車に貼るマークです。

このマークを貼った車への^{わりこみ}割り込みは^{きんし}禁止されています。



◆^{ちようかく}聴覚障害者標識

このマークは、^{みみ}耳が不自由な人が車を運転するときに車に貼るマークです。

このマークを貼った車への^{わりこみ}割り込みは^{きんし}禁止されています。



◆^{みみ ふじゆう ひと}耳の不自由な人のマーク

耳の不自由な人が、周りの人に名前を呼ばれても聞こえないことを知らせるマークです。

このマークを付けた方と話すときは、文字を書いてやり取りをしたり、はっきり口元を見せて話したりしてください。



◆^{たじみし}多治見市のバリアフリーマーク

多治見市では、バリアフリーについて一定の条件にあてはまるお店や施設にこのマークを配り、入口に貼ってもらうようにしています。

障がいのある人や小さな子どもを連れた人たちが、お店や施設などを選ぶときの参考にできます。



◆^{けん}ほじょ犬マーク

このマークは、市役所や電車、バス、お店などに身体障がい者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）と一緒に入れることをお知らせするマークです。

ほじょ犬はペットではありません。体の不自由な方の体の一部となっていて働いています。

◆ **福祉体験の様子と感想**

しょうがっこう なか
小学校の中には、こんなふうに福祉体験をしているところがあります。

体験して、わかったことや感じたことをみんなで話し合ってみましょう。



しょうがくせい
《福祉体験をした小学生の感想》

め み 目が見えないことがどれほど大変なことたいへんで苦勞くろうが大きいおおか、体験を通して実感じっかんしました。
てんじ 点字ブロックじてんしゃに自轉車おなどを置いたりすることは絶対ぜったいしてはいけないし、視覚障がいしかくしょうがいの方が
あんしん 安心して道みちを通行つうこうできるよう、声かけや案内こえをしていけたらいいと思おもいました。

としよ お年寄りとしよの方は、今日きょう、疑似体験ぎじした状態じょうたいがずっと続つづいていると思うと、とても大変だと思っ
た。これからは身近みぢかにいるお年寄りのお手伝てつだいをしたり、やさしく接せつしてあげたいと思いま
した。お年寄りのために私わたしにできることをしていきたいです

くるま 車くるまいす体験では、一人ひとりで動うごくときが大変でした。左右さゆうに動かすときに、違ちがう方向ほうこうに行いって
しまったりコーンを踏ふんでしまったりしました。介助かいじょするときも、スロープのぼりの上おり下くだりが難
しかったです。介助かいじょの大変さや大切たいせつさが改あらためてわかりました。

◆^{じたく}^う自宅で受けられるサービス

^{しょう}障がいのある人やお年よりの人が自宅^{せいかつ}で生活するときに利用できるサービスがいろいろあります。

たとえば

●^つ^{しゃりょう}リフト付き車両

^{くるま}車いすに乗っている人が出かけるときに^{むか}迎えにきてもらえます。



●^{ほうもんにゆうよくかいご}^{いどう}訪問入浴介護（移動入浴車）

お風呂に入ることが^{こんなん}困難な人の家^{いえ}に来て入浴の手助け^{てだす}をしてもらえます。



●^{ふくしょうぐかしだし}福祉用具貸出

^{でんどう}電動ベッドなどが^か借りられます。



●^{じゅうたくかいしゅう}住宅改修

^て手すりをつけたり、^{だんさ}段差をなくしたりします。



編集委員

平成 28 年 3 月末現在

委員長	河本 英樹	多治見市教育研究所
副委員長	河尻 永氏	社会福祉法人 美濃陶生苑
編集委員	宮島 美代子	岐阜県身体障害者福祉協会多治見支部
	森内 佐和子	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
	勝野 和広	多治見市立陶都中学校 教諭
	池戸 佳香	多治見市立北陵中学校 教諭
	前川 栄一	多治見市立養正小学校 教諭
	渡辺 雅司	多治見市立根本小学校 教諭
	水野 祥子	多治見市保健センター
	市原 浩代	多治見市子ども支援課

表紙絵

上村 数洋 「天までとどけ」 ふれあいアートステーション・ぎふ登録作品

表紙裏詩・絵

伊藤 一浩

取材協力・写真提供

伊藤一浩、加藤昭子、小林康史、カム・オン有限会社、感謝と挑戦のTYK体育館、岐阜SHINE、小泉公民館、社会福祉法人中部盲導犬協会、サンホーム滝呂、社会福祉法人多治見市社会福祉協議会、精華幼稚園、太平児童センター、太平地域包括支援センター、多治見警察署駅前交番、多治見市民病院、多治見市障害者福祉センター、多治見市老人福祉センター、多治見南消防署、東濃鉄道株式会社、ふれあいサロン養正、ユニバーサルデザイン研究会、市内小学校

(順不同・敬称略)

参考文献

ボランティアに役立つはじめてであう点字⑤バリアフリーをめざして／岩崎書店
やってみよう！はじめての手話①手話をはじめよう／岩崎書店
からだが不自由って、どんなこと？②バリアフリーの町に！／(株)学習研究社
総合的な学習のテーマがみつかるアイデア新聞④健康・福祉・ボランティアを体験／金の星社
わたしたちにもできるこれからのボランティア②ボランティアをはじめよう実践編①／文研出版
わたしたちにもできるこれからのボランティア③さまざまなボランティア実践編②／文研出版
「障害」について考えよう②目でしっかりきく 耳に障害のある子どもたち／ポプラ社
「こころ」を伝えるボランティアの本②あいさつだってボランティア／光村教育図書
「こころ」を伝えるボランティアの本④まちがいだらけのボランティア／光村教育図書

平成 28 年 3 月 改訂版発行

編集発行 多治見市福祉部福祉課
多治見市音羽町 1-71-1
TEL 0572-23-5812
作成費用 524,340 円 (税込)
作成部数 1,400 部

※この印刷物は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

※リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

※この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この冊子は植物油インキを使用しています